

中心部エリア ブランドコンセプト

- ・ 中心部エリアの概要
- ・ 背景
- ・ ブランドコンセプト
- ・ ブランドコンセプトの詳細
- ・ ターゲット
- ・ 過ごし方
- ・ ブランドを確立するために必要なアプローチ

令和5年3月
仙台市中心部エリア
ワークショップ



中心部エリアの概要

第1回～第4回ワークショップにて、ブランドを構成する要素・トピックスとして下記が挙げられ、それぞれの特徴を踏まえると、中心部エリアは4つのエリアに分類されるという整理を行った。

中心部エリアのブランドを構成する要素・トピックス

- 都市・ビジネス・街並み 東北の玄関口、定禅寺通、商店街など
- グルメ・名物・特産品 牛タン、笹かまぼこ、ずんだ、食べ歩きなど
- 歴史・文化・風土 伊達政宗公、城下町、青葉山、仙台城跡など
- ナイトタイムエコノミー 国分町、飲む・食べる・遊ぶなど
- 生活・暮らし ファッションの街、若者の街、学都など
- 芸術・芸能・スポーツ サンドイッチマン、羽生結弦さん、プロスポーツなど
- 祭り・イベント 青葉まつり、七夕まつり、光のページェントなど

ワークショップにおいてグループワークを行った結果、多種多様な要素・トピックスが挙げられたが、その要素を分類分けすると、おおよそ上記にグループ分けをすることができる。



エリアの分類

青葉山エリア

駅前・商店街エリア

国分町エリア

定禅寺通エリア

中心部エリアは、主に上記の4つのエリアに分類される。



仙台市中心部は、大まかに**4つ**のエリアに分類され、個々に異なる魅力を持ち合わせており、その**集合体**であると言える。

中心部における4つのエリアの特徴

■定禅寺通エリア

ケヤキ並木が続く定禅寺通は杜の都の象徴ともいえる場所。歴史ある祭りや音楽、アート文化が根付く場所であり、四季折々の楽しみ方ができる。大通りや路地裏にはスイーツ、カフェなどがあり緑に癒されながら過ごすことができる。

■国分町エリア

東北最大の歓楽街である国分町では、牛タン、炉端焼きなどの様々な食文化が根付く場所であり、夜遅くまで楽しめるナイトコンテンツが充実しているエリア。「飲む・食べる・遊ぶ」のすべてを堪能することができる。

■青葉山エリア

伊達政宗公が築いた仙台城跡や、桃山文化を今に伝える豪華絢爛な瑞鳳殿など、伊達文化を体感することができる青葉山エリア。令和5年4月には仙臺緑彩館が追廻地区に開館予定であり、より一層の交流人口の拡大が期待される。

■駅前・商店街エリア

東北の玄関口である仙台駅から続くアーケードが広がる駅前・商店街エリアは雑貨店やファッションショップが立ち並び、ブラブラとショッピングが楽しめる場所。散策に疲れたらおしゃれなカフェで一休みするなど都会的な過ごし方を満喫できる。



(写真提供)：宮城県観光プロモーション推進室

魅力ある4つのエリアでの過ごし方をワークショップ内で検討した結果、各エリアのブランドのイメージと、そのイメージを連想させるキーワードとして下記の過ごし方が意見として挙げられた。

中心部各エリアのブランドのイメージ・キーワード



青葉山エリア

(写真提供) 宮城県観光プロモーション推進室

杜の都仙台の「伊達」文化に触れる

○伊達文化 ○仙台城跡 ○歴史



駅前・商店街エリア

東北の玄関口から商店街へ
個性あふれるアーケードをぶらり散策

○アーケード ○東北の玄関口 ○商店街



国分町エリア

「味覚の街」仙台の地元グルメに舌鼓

○牛タン ○飲む・食べる・遊ぶ



定禅寺通エリア

杜の都の象徴
定禅寺通で四季を感じるまつりに出会う

○杜の都 ○緑道・癒し ○定禅寺通

4つのエリアにそれぞれの魅力があり、ブランドが異なるのが中心部。それぞれのブランドの集合としての仙台市中心部を、大きく1つに括った場合にどのように表現されるか、ワークショップ内で話し合われた。

青葉山
エリア



駅前・
商店街
エリア



国分町
エリア



定禅寺
通エリ
ア



(写真提供) 宮城県観光プロモーション推進室

『ウォーカブルなまち』 『歩いて魅力を発見できるまち』

中心部エリアは、伊達家の歴史を感じることができる青葉山エリアをはじめ、『杜の都の象徴』定禅寺通エリアや、個性あふれるアーケードを散策できる駅前・商店街エリア、東北最大の歓楽街である国分町エリアなど、多彩な魅力が充実している場所。

本市は「杜の恵みを活かした持続可能なまち」を掲げて環境都市づくりをすすめている。

それぞれのエリアが近接しており、環境にやさしいウォーカブルなまち巡りで、訪れる人それぞれが杜の都の楽しみ方や魅力を発見することができる。



(写真提供) 宮城県観光プロモーション推進室

歩いて発見 伊達なまち
～あなたのおきを見つけよう～

『伊達』なまちとして

仙台藩初代藩主、伊達政宗公。

伊達政宗公は、伝統的な伊達家の文化を背景に、豪華絢爛な桃山文化や国際色豊かな海外の文化を取り入れ、これまでにはない独自の文化を作り上げていきました。

『伊達』という言葉には諸説ありますが、派手な様や豪華な様、好みが粹であるという意味があります。

伊達政宗公が築き上げた“伊達”な歴史や風土が根付いている仙台市中心部エリアは、まさに『伊達』なまちです。



ブランドコンセプトの詳細（青葉山エリア）



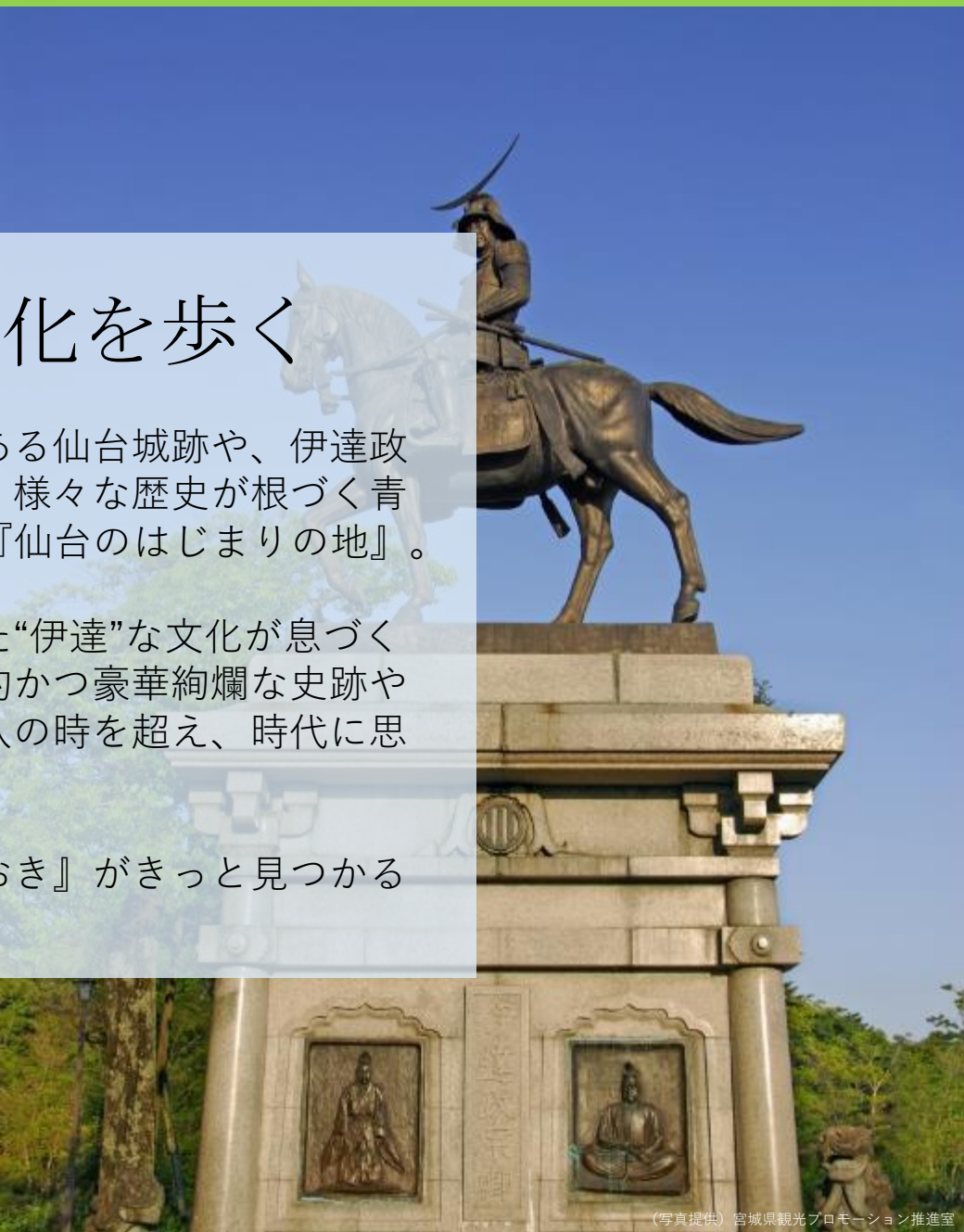
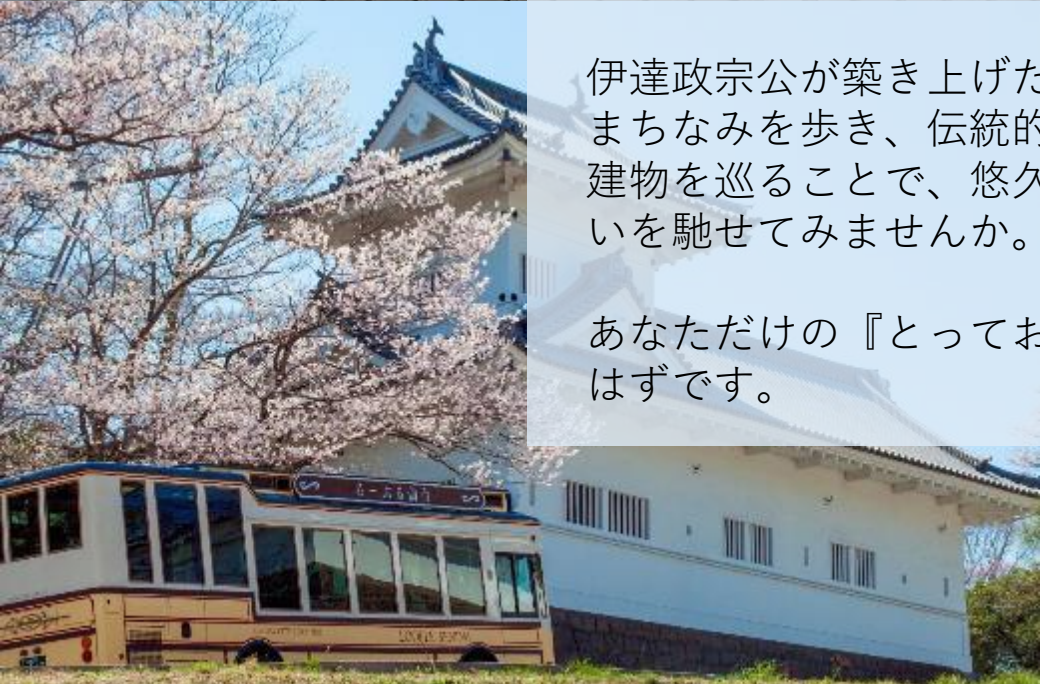
(写真提供) 宮城県観光プロモーション推進室

“伊達”文化を歩く

伊達家代々の居城跡である仙台城跡や、伊達政宗公が眠る瑞鳳殿など、様々な歴史が根づく青葉山エリアは、いわば『仙台のはじまりの地』。

伊達政宗公が築き上げた“伊達”な文化が息づくまちなみを歩き、伝統的かつ豪華絢爛な史跡や建物を巡ることで、悠久の時を超え、時代に思いを馳せてみませんか。

あなただけの『とっておき』がきっと見つかるはずです。



(写真提供) 宮城県観光プロモーション推進室



“アーケード・横丁” を歩く

東北の玄関口である仙台駅を起点にして、西側に様々な商店街が軒を連ねる駅前・商店街エリア。東西南北に長く続くアーケードは、おしゃれなファッションや雑貨があふれる流行の発信地。アーケードを歩くことで、多彩な専門店やカフェに出会えます。

アーケードを一步出ると、古き良き昭和の面影を残す横丁があり、その文化に触れることができます。また、個性あふれるお店やディープなお店を発見できる場所です。

8月には、伊達政宗公の時代より続く、日本一の七夕、『仙台七夕まつり』が開催され、吹き流しや仕掛けものなど趣向をこらした笹飾りがアーチを描きます。

あなただけの『とっておき』がきっと見つかるはずです。

“味のまち” “夜のまち” の食文化を歩く

牛タンや炉端焼き発祥の地であり、古くから仙台の食文化が根付きながら、東北最大の歓楽街として発展してきた国分町エリア。

居酒屋、郷土料理屋、スナック、バーなど多くの店が軒を連ねる国分町エリアでは、数々の食文化を満喫することができます。

またナイトタイムを満喫するコンテンツが充実しているこの場所では、夜更かしを気にせず遊び尽せます。

『飲む・食べる・遊ぶ』のすべてが充実している国分町エリアを、時間を忘れて練り歩いてみませんか。

あなただけの『とっておき』がきっと見つかるはずです。





“杜の都”の並木を歩く

藩政時代、伊達家の家臣の屋敷林や寺社仏閣の林、広瀬川や青葉山の緑が一体となり、まち全体が緑に包まれていたことを表した“杜の都”。

昭和20年の仙台空襲で、まちの緑は焼けてなくなってしまいましたが、戦後の復興の象徴として植えられたケヤキ並木が連なる定禅寺通エリアは、都心にありながら緑あふれる、街と自然が共に生きていることを感じられる、現代の“杜の都”のシンボルとも言うべき場所です。また、アートや音楽の文化が息づく場所でもあり、市民の様々な活動とともに歩んできた歴史があります。

そんな定禅寺通を歩くことで、仙台の“杜”を全身で感じることができます。

木漏れ日を感じながら、都会の喧騒や時間を忘れて、ゆっくり歩いてみませんか。

あなただけの『とっておき』がきっと見つかるはずです。

“祭りの賑わい” を歩く

多くの祭りやイベントが開催される定禅寺通エリア。四季を通じて、様々な祭り文化を感じることができます。

初夏を彩る仙台・青葉まつりをはじめ、秋には中心部のいたるところで音楽が奏でられる定禅寺ストリートジャズフェスティバル、冬には定禅寺通が温かい光に包まれるSENDAI光のページェントなど、四季折々の魅力がこの場所にはあります。

いつ訪れても異なる一面を見せる中心部を歩いて、仙台の“エンターテインメント”を満喫しませんか。

あなただけの『とっておき』がきっと見つかるはずです。





(写真提供) 宮城県観光プロモーション推進室

その土地ならではの文化や伝統、
歴史の魅力を楽しみたいと感じている層



その土地にしかない個性的なお店や
グルメを楽しみたいと思っている層



都会的な街並みでおしゃれなカフェや
ファッション店を巡り、ショッピングを
楽しみたいと感じている層



①東北の玄関口から商店街へ 個性あふれるアーケードをぶらり散策

- ・アーケードをぶらり散策し、自分好みのお店との出会いを楽しむ
- ・アーケードを練り歩き、雑貨やファッションのショッピングを楽しみつつ、おしゃれなカフェでブレイクタイム

②『味覚の街』仙台の地元グルメに舌鼓

- ・仙台の王道グルメ「牛タン」「笹かま」「ずんだ」を食べ比べ
- ・趣あふれる横丁をぶらり散策し、地元の名店に出会う
- ・東北が誇る歓楽街、国分町で伊達な地酒に酔いしれる

③杜の都の象徴、定禅寺通で四季を感じる祭りに出会う

- ・緑あふれる並木道を散歩しながらカフェやスイーツを楽しむ
- ・仙台・青葉まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI光のページェントなど四季折々の祭りを体感する

④杜の都仙台の「伊達」文化に触れる

- ・仙台城跡、瑞鳳殿など伊達家ゆかりの建物、史跡を巡る
- ・るーぷる仙台で豪華絢爛な伊達家の建物を巡り、仙台城跡で杜の都仙台の景色を一望する

ブランドを確立するために必要なアプローチ（コンテンツ）



ワークショップ内で出た意見

○コンテンツ

- ・アニメコンテンツとのコラボレーション
- ・すずめ踊りを踊ることができるスポット等、仙台・青葉まつりの時期でなくてもそれを体感できる場所づくり
- ・祭りに飛び入りで参加できる仕組みづくり
- ・屋根がない一番町四丁目アーケードならではのコンテンツ
- ・歩いて駅前・商店街の観光スポットを回る「アーケードクエスト」の実施や、国分町の飲食店を巡る「国分町チャレンジ」の実施など、まちの特徴をコンテンツ化する仕掛けづくり
- ・仙台市中心部半径5キロメートルの中でできることをまとめた情報発信
- ・イベント（音楽・スポーツ等）で来仙した方をいかに仙台に滞在してもらうかの仕組みづくり
- ・イベントで来仙した方への地域クーポン券を発行し、地域の店舗で消費していただく仕組みづくり
- ・定禅寺通という魅力的なコンテンツの目的地化

ブランドを確立するために必要なアプローチ（プロモーションの方法）



ワークショップ内で出た意見

○プロモーションの方法

- ・ 中心部の様々な魅力の発信のため、ショートムービーでエリアや段階を分けてシリーズ化して発信
- ・ 仙台市中心部半径5キロメートルの中でできることをまとめた情報発信
- ・ 仙台の良いところ、魅力の発信不足
- ・ 内部的に当たり前にあるコンテンツは外から見ると魅力的に映るため、仙台の良いところ自慢をより積極的に発信する仕掛けづくり
- ・ 「市民tuber」のような市民が情報を発信し、それを仙台市がサポートしていく体制づくり

ブランドを確立するために必要なアプローチ（受入環境の整備）



ワークショップ内で出た意見

○受入環境の整備

- ・おもてなし環境の整備
- ・仙台の観光スポットを紹介してくれる店が分かるようなコンシェルジュマークの作成
- ・仙台駅からのモビリティの充実
- ・中心部でのエリアを狭め、細かい情報が載っているマップの作成
- ・紙ベース以外のデジタルでのmapの充実（それぞれの興味関心に合わせて紹介されるお店の種類が変わるなど）
- ・仙台全域のマップはあるが、エリアを分けてのマップが観光情報センターに置いていないという課題
- ・青葉山エリア、定禅寺通エリアに行く際にどのような手段で行けばいいのかが分かりにくいという課題
- ・それぞれの目的地別のモビリティを分かりやすく案内する仕組みづくり